

令和8年5月三木市教育委員会（定例会）会議録

1 開催日程

- (1) 開 会 令和8年5月15日（金）午後2時
(2) 閉 会 令和8年5月15日（金）午後3時30分

2 場 所 三木市役所 5階 大会議室

3 議事日程

- 第 1 会議録署名委員の指名について
第 2 会議録の承認について
第 3 会議の公開・非公開の決定について
第 4 協議事項2 豊地小学校の統合に係る教育委員会の方針について
第 5 報告事項 三木市教育委員会顕彰規則に基づく被顕彰者の決定について
第 6 報告事項 青少年補導委員の委嘱について
第 7 報告事項 各課（室）の所管事項について
第 8 その他
第 9 次回定例会の開催日程について

4 出席者

教 育 長	大 北 由 美
委 員	石 井 ひろ美
委 員	梶 正 義
委 員	稲 見 秀 行
委 員	西 岡 愛

5 欠席者 なし

6 事務局出席者

教 育 総 務 部 長	森 田 眞 規
教 育 振 興 部 長	山 口 正 明
教 育 総 務 課 長	田 中 栄 一
教 育 施 設 課 長	大 塚 芳 徳

生涯学習課長	大西武宏
図書館長	河端康
文化・スポーツ課長	大西良門
文化・スポーツ課主幹	伊藤博子
学校教育課長	武内克朗
教育センター所長	小池宏尚
小中一貫教育推進室長	仲谷淳
教育・保育課長	荒田知宏
教育総務課課長補佐	石田勝彦
教育総務課主任	富岡憲登

7 傍聴者 なし

【開会】

○大北教育長：それでは、ただいまより教育委員会5月の定例会を開会いたします。

本日の傍聴者の状況について、事務局より報告をお願いいたします。

○田中教育総務課長：本日は、傍聴者はいらっしゃいません。以上でございます。

○大北教育長：承知しました。

これより議事日程に従いまして、議事を進めてまいります。

【日程第1 会議録署名委員の指名について】

○大北教育長：日程第1は、会議録署名委員の指名についてです。

会議録署名委員は、三木市教育委員会会議規則第28条の規定により、石井委員と西岡委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

【日程第2 会議録の承認について】

○大北教育長：次に、日程第2の会議録の承認についてです。4月定例会及

び臨時会の会議録につきましては、既にお手元に送付しておりますので、御確認いただいているかと存じます。御意見や修正箇所等がございましたら、お申し出ください。

それでは、会議録の承認について異議はございませんか。

(一同うなずき)

それでは異議なしと認め、会議録については承認されたものとして取り扱います。

【日程第3 会議の公開・非公開の決定について】

○大北教育長：次に、日程第3の会議の公開・非公開の決定についてです。

当会議は原則として非公開ですが、協議事項2「豊地小学校の統合に係る教育委員会の方針について」は、意思形成過程にあるため、公にすると市民の間に混乱を生じるおそれがある案件ですので、非公開のまま審議いたしますが、よろしいでしょうか。

(一同うなずき)

異議なしと認め、非公開といたします。

審議の順序は、公開案件を先に行い、続いて非公開案件へ移ります。

【日程第5 報告事項「三木市教育委員会顕彰規則に基づく被顕彰者の決定について」】

○大北教育長：では、日程第5、報告事項「三木市教育委員会顕彰規則に基づく被顕彰者の決定について」、事務局から説明をお願いします。

○大西生涯学習課長：それでは、資料の10ページを御覧ください。

三木市教育委員会顕彰規則に基づく被顕彰者の決定について報告いたします。

三木市教育委員会顕彰規則第4条の規定に基づき、被顕彰者を決定いたしましたので、三木市教育委員会の権限に属する事務の一部の教育長への委任等に関する規則第2条第2項第4号の規定により、報告いたします。

次ページへお願いいたします。

記載のとおり、令和7年度の三木市連合PTA会長及び副会長に対し、令

和 8 年 5 月 2 5 日に開催される三木市連合 P T A 臨時総会において感謝状を贈呈いたします。

以上です。

○大北教育長：報告に関しまして、御意見や御質問はございますか。

よろしいでしょうか。

【日程第 6 報告事項「青少年補導委員の委嘱について」】

○大北教育長：では次に、日程第 6 の報告事項「青少年補導委員の委嘱について」、事務局より説明をお願いいたします。

○小池教育センター所長：青少年補導委員の委嘱について報告いたします。

資料の 1 2 ページを御覧ください。

三木市青少年センター運営に関する規則第 4 条第 2 項の規定に基づき、青少年補導委員を委嘱いたしましたので、三木市教育委員会の権限に属する事務の一部の教育長への委任等に関する規則第 2 条第 2 項第 5 号の規定により、報告いたします。

委嘱の理由は、自治会の申し出による補導委員の交代及び追加があったためです。

委嘱期間は令和 8 年 4 月 1 日から令和 1 0 年 3 月 3 1 日までで、委嘱したかたがたは資料の 1 3 ページに記載されております。以上です。

○大北教育長：報告に関しまして、御意見や御質問はございますか。

○梶委員：交代とは、どなたかが入れ替わるということでしょうか。

また、追加とは、これまでのかたに加えて 2 人の必要があったという理解でよろしいでしょうか。その理由をお聞かせください。

○小池教育センター所長：今回は期日までに報告がなかった自治会から報告をいただいたため、新たに追加委嘱を行いました。

○梶委員：分かりました。ありがとうございます。

○大北教育長：では、定員が満たされたという理解でよろしいでしょうか。

空席となっていたところに入られたかたがおられ、全体としては人数が揃

ったということでしょうか。

○小池教育センター所長：実はまだ提出いただいていない自治会もございますので、定員が満たされているとはいえず、まだ残数がある状況です。

○大北教育長：それでは、この件につきましてほかに何かございませんか。
よろしいでしょうか。

【日程第7 報告事項 各課（室）の所管事項】

○大北教育長：次に日程第7、報告事項、各課（室）の所管事項について事務局から説明をお願いいたします。

○田中教育総務課長：それでは、教育委員会事務局の所管事項のうち、始めに教育総務課の所管について報告いたします。

資料の25ページをお願いいたします。

今後の予定といたしまして、令和8年度三木市教育委員会奨学生募集について記載しております。

令和8年度におきましては、5月18日、来週の月曜日から募集を開始し、6月22日までの約1か月間を募集期間として、奨学生の募集を受け付けます。

対象者は、高校生、大学生、専修学校生などとなっております。

今後の予定といたしましては、7月中旬に採否を決定する予定です。

なお、ここには記載しておりませんが、教育委員会奨学生の制度につきましては、令和10年度に見直しを行うこととしております。

令和7年度から令和9年度までの3か年は見直しに向けた移行期間とし、十分に周知を行うこととしております。令和8年度はその中間年度となりますので、引き続き、機会を捉えて見直しや周知を図ってまいります。

以上で、教育総務課からの所管事項の報告を終わります。

○大北教育長：何か御質問がございましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。では、教育施設課をお願いいたします。

○大塚教育施設課長：資料の26ページを御覧ください。

教育施設課からは、令和8年度に実施いたします主な学校施設整備の工事について御説明いたします。

御覧のとおり、令和8年度の主な工事は、経年劣化が進んだ緑が丘東小学校の廊下や階段の内装工事、また、トイレの洋式化工事など、令和7年度に続き2期目の工事として実施する予定です。

この緑が丘東小学校の大規模改修工事は、工事費用が1億5千万円を超える事業となるため、議会の議決が必要となります。仮契約締結後の5月22日に、教育委員会臨時会で改めて御説明いたしますので、よろしくお願いいたします。

そのほかにも、外壁や屋上防水工事を実施いたします。対象となる学校は、自由が丘小学校、三木中学校北校舎、緑が丘中学校です。

4番目の三木中学校体育館には、令和8年度中に空調設備の設置工事を実施する予定です。

これらの工事につきましては、事業者選定後の契約・実施となるため、進捗状況を当定例会で報告いたします。

次に、校舎及び体育館の照明のLED化工事については、吉川小学校と吉川中学校を除く18校で順次設置を進めております。

平田小学校、口吉川小学校、別所中学校につきましては、今年4月に工事が完了しております。

そのほかの学校は、夏休み中に設置する予定です。

以上で、教育施設課からの報告を終わります。

○大北教育長：何か御質問・御意見がございましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。では、次に生涯学習課をお願いいたします。

○大西生涯学習課長：それでは、生涯学習課からの報告事項ですが、まず先月の委員会で、委員の皆様からいただきました2つの質問にお答えいたします。

1点目は、稲見委員からいただいた全国子ども会安全共済会についての御質問です。

加入については、連合組織がない場合、任意の有志団体により加入されている市町もあるとのこと。稲見委員のおっしゃるとおり、各市町において取りまとめ団体は一つであることが望ましいということでした。

県内ではそのような事例がいくつかあるようですが、全て行政が関わっていないため、今後、個別に御相談させていただきたいと考えております。よろしいでしょうか。

○稲見委員：ありがとうございます。

○大西生涯学習課長：引き続き、御相談させていただきます。

続きまして、西岡委員からいただいた「よかところルーム」の利用マナーに関する掲示物や案内についての質問ですが、現地で私も確認いたしました。

室内に掲示はありますが、少し字が小さい印象でしたので、今後、吉川町公民館、吉川図書館と連携し、子どもたちに向けた利用マナーの啓発に努めてまいります。よろしくお願いいたします。

よろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは27ページを御覧ください。生涯学習課の事業報告です。

実施した事業といたしまして、昨日、三木市高齢者大学の第1回運営委員会を開催いたしました。

次のページの別紙1を御覧ください。

令和8年度の高齢者大学運営委員については、三木市高齢者大学設置要綱第13条第4項の規定に基づき、三木市高齢者大学学長から三木市高齢者大学運営委員会会員の委員を、次ページの別紙2のとおり委嘱する報告があり、承認いたしました。

27ページに戻りまして今後の予定です。5月25日に三木市連合PTA臨時総会、また、5月28日には三木市ユネスコ協会総会を予定しております。

生涯学習課からの報告は以上です。

○大北教育長：何か御質問、御意見はございませんでしょうか。

よろしいでしょうか。では次に、図書館をお願いいたします。

○河端図書館長：図書館から報告いたします。資料の30ページをお願いいたします。

実施した事業につきましては例年のものです。

今後の予定ですが、②の蔵書点検を行うため、休館いたします。

吉川図書館は5月25日から28日までの4日間、中央図書館は6月1日から9日までの9日間、自由が丘図書コーナーは6月3日の1日間、青山図書館は6月15日から17日までの3日間休館となります。

中央図書館の休館期間が長くなるため、この期間中の貸出冊数を通常の10冊から20冊に増やして対応いたします。

次に、「あおとフェス」についてですが、青山図書館の開館記念として、

6月6日、7日にフェスを開催する予定です。1日限定で貸出冊数を2倍にし、付録の抽選会なども企画しております。

そのほかは、例年どおり通常業務を行っております。

前回定例会時に図書館デジタルアーカイブの閲覧数について御質問がありましたが、4月1日から30日までの期間に閲覧数は54回、閲覧人数は27人と、まだ利用者は少ない状況です。

図書館アプリにつきましては、1月にダウンロード開始後、5月8日時点で1,372件のダウンロードをいただいております。

4月からは各公民館の女性セミナーや高齢者教室でアプリPRの活動も行っております。図書館だけでなく公民館にも伺い、アプリの利用促進やデジタルアーカイブのPRをしており、利用者拡大に努めております。

図書館からの報告は以上です。

参加者数はまだ集計中ですが、後ほど報告いたします。

○大北教育長：実施した事業の参加人数については後ほど報告をお願いいたします。

何かございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

では、文化スポーツ課をお願いいたします。

○伊藤文化・スポーツ課主幹：まず、先月、石井委員からいただいた質問にお答えいたします。

歴史ウォークの案内人について、何人ほど登録されているかという御質問ですが、昨年は5回実施しております。案内人はコースごとに適したかたに直接お声掛けし、お願いしておりますので、特に登録者数を設けておりません。内容に詳しいかたに適宜お願いしている状況です。

2点目の質問は、定員が30～40人ですが参加人数はどうかということで、昨年5回の実施で募集は合計135人、当日の参加は131人で、御欠席は4人でした。ほぼ全員の参加です。以上です。

○大北教育長：石井委員、よろしいでしょうか。

○石井委員：ありがとうございます。

案内人に適切なかたが選ばれているとのことですが、その情報はどのように得ているのでしょうか。さきほど登録はしていないとお聞きしました。案内人の人数が多いほど選択肢が増えてよいと思いますが、高齢の場合には後

継者がいることも望ましいと考えます。前回定例会でもその点が気になりましたので質問いたしました。後継者はいらっしゃいますか。

○大西文化・スポーツ課長：現在はその道に詳しいかたにお願いしております。若い方にもおりますので、今後、そのかたがたに引き継いでいただく予定です。

○大北教育長：文化・スポーツ課の報告について、ほかにございませんでしょうか。

○大西文化・スポーツ課長：それでは、報告事項として33ページを御覧ください。

実施した事業は記載のとおりです。

②企画展は5月10日まで堀光美術館で美術協会写真・彫塑工芸部会展を開催し、来場者は802人でした。

次のページは実施中の事業で、歴史資料館で企画展「三木の古墳展」を6月21日まで開催中です。ぜひ御覧ください。

続いて、今後の予定です。

①歴史ウォークは5月17日、愛宕山古墳・正法寺古墳コースで開催予定です。

②三木市の花「さつき」展覧会を5月30日と31日に山田錦の館で開催し、表彰式も5月31日に同館で行います。

○伊藤文化・スポーツ課主幹：続きまして、「みきティブ」の追加認定について説明いたします。

報告事項の23ページと24ページを御覧ください。

5月1日付けでスポーツ部門で5クラブの登録が増えております。以上です。

○大北教育長：そうしましたら、大西課長と伊藤主幹の報告について、何か御意見はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

では、次にまいります。学校教育課をお願いいたします。

○武内学校教育課長：それでは、35ページを御覧ください。

学校教育課の実施した事業につきましては、記載のとおりでございます。

まず①の第1回いじめ対応研修につきましては、学校長をはじめ、生徒指導担当者を対象として、事例に基づいた実践的な場面を想定したディスカッションを通じ、迅速な初期対応や組織編成の重要性について共通理解を図ったところでございます。

③の校園所長会では、多数の報告事項の中でも特に、令和7年度の長期欠席児童生徒の報告や令和8年度の不登校対策の重点について説明を行いました。

⑤の修学旅行につきましては、三木東中学校が令和8年度のスタートを切り、沖縄方面へ出発しております。

⑥の学力向上推進ワークショップでは、各校から研究推進担当者が集まり、エビデンスに基づく事業改善に向けて、S c T N（スクタン）アンケートの概要や結果分析の方法などについて研修を深めたところでございます。

なお、S c T Nアンケートとは令和8年度から取り組むもので、従来のテストの点数では見えにくかった、やる気、主体性、協働する力、粘り強さ、自己肯定感といった、いわゆる非認知的な能力を測定するものでございます。

変化の激しい時代に必要な「生きる力」が育っているかを確認できるツールとして、令和8年度より導入しております。

今後は従来の全国学力・学習状況調査や基礎学力定着化事業の結果を踏まえつつ、更にこのS c T Nアンケート等を用いて、客観的な事実に基づいた学校改善及び授業改善を行ってまいりたいと考えております。

今後の予定につきましても、記載のとおりでございます。

学校教育課の報告事項は以上でございます。

○大北教育長：何か御質問はございませんでしょうか。

○梶委員：失礼します。どこかで一度教えていただいたかもしれませんが、S c T Nアンケートについて、もう少し詳しく、どのようなものか教えていただいてよろしいでしょうか。

どの程度の規模で使われているのか、どのような点が測りやすいのか、教育の中で生かしやすいのかななどを、年度の初めに改めて勉強したいと思いました。

○武内学校教育課長：アンケートは各学校で小学3年生以上、中学3年生までを対象に実施いたします。

それぞれの学校の実態を踏まえつつ、教育委員会としては三木市全体の動

きもまとめてまいります。

従来のテスト結果では「見える学力」を評価し、成績の上下や向上策を議論してまいりましたが、実際には学力を支える「学びに向かう力」がどのような状態か、教師の感覚や子どもの意識を客観的に把握することが難しかった状況があります。

今回のアンケートにより、そうしたデータを可視化し、今後の改善方向や改善策を見出すことができるようになる予定です。

具体的には、データをグラフ化し、学校ごとに子どもたちの非認知能力の傾向や強み・課題が客観的に把握できる形で進めてまいります。

現在は開始段階で、まずは学校長や担当者に周知を図りつつ、一般社団法人「School Transformation Networking」の代表者と調整しながら進めてまいります。

以上です。

○石井委員：S c T Nアンケートに関する質問です。

前回の説明に加えて、アンケートの実施のタイミングについてお聞きしたいです。例えば、学期始めに実施する場合と中盤や後半で実施場合がありますが、クラスの雰囲気やコミュニケーション、教員との関係など環境によって結果が変わると思います。

そのため、比較したりデータ活用したりする際、同じタイミングで測定するといった工夫はあるのでしょうか。

○武内学校教育課長：S c T Nアンケートは大きく2種類ございます。

一つは年度初めに実施し、現状把握を目的に5月から6月に第1回目を実施いたします。これは全体的なアンケートです。

もう一つは変容を見るため、2学期以降に第2回目を実施する予定です。

更に、年度初めのアンケートよりライトなアンケートとして、単元終了後などに担任が子どもの様子や指導への反応を把握するためのものもございます。これは各学校や担任の判断で適宜実施されます。

○山口教育振興部長：少し補足いたします。

梶委員から三木市以外の導入状況についても質問がありましたが、文部科学省のデジタルデータ共有システム「MEXCBT（メクビット）」でこのS c T Nは紹介されており、他自治体でも実施が可能です。

導入初期には約50の自治体、約300の学校が参加していました。三木

市が参加することで、他自治体との比較検討も可能となっております。

このアンケートは国の主体的・対話的で深い学びの推進を受けて、教育の実態を可視化する目的で作成されており、教育哲学の知見に基づく信頼性の高いツールです。

三木市でも本施策を進め、学校が自ら分析し授業改善に役立てることをめざしております。以上です。

○大北教育長：概要は御理解いただけたかと思いますが、実際にどのような質問をするのか、教科ごとなのか教科共通なのかといった具体的な点がお伝えしにくいところがございます。

もし可能であれば今のうちに、御説明をお願いいたします。

○武内学校教育課長：確認いたしますので、少々お待ちいただけますでしょうか。

○大北教育長：それでは、ほかに御意見はございませんでしょうか。よろしいですか。

では、一旦先に進めてまいります。教育センターの報告をお願いいたします。

○小池教育センター所長：資料の３７ページを御覧ください。

実施した事業につきまして、相談に関するものは①、②のとおりでございます。

③のみっきいルームの運営状況については、現在、通級生及び体験生を含めて３人の子どもたちが活動しております。

センターの今後の予定につきましては、資料の３８ページを御覧ください。

①６月４日に、校務や学習指導における生成ＡＩ活動の活用を図るための入門編研修を実施したいと考えております。特にＩＣＴが不得手な教員にも理解できるよう、丁寧に進めて利用を促進していきたいと思っております。

続きまして、青少年センターについて報告いたします。実施した事業は（１）に記載しておりますので、御覧ください。

今後の予定については、３９ページを御覧ください。

①三木市青少年補導委員会の総会を５月２３日に開催する予定です。その中で、三木警察署生活安全課の課長に講師として御登壇いただき、三木市内の青少年の現状について御講義いただきます。今後の青少年の健全育成及び

非行防止に役立ててまいりたいと考えております。

以上、センターからの報告です。

○大北教育長：何か御意見や御質問がございましたらお願いいたします。

○西岡委員：（１）の実施した事業の④について質問いたします。

先月の報告の際に目に留まり、この葛原氏はさまざまところで発信されていることを知り、私もＳＮＳを拝見しました。内容も興味深そうでしたが、どのような研修内容か、また、参加者の声などがあれば教えていただきたいです。

○小池教育センター所長：御質問ありがとうございます。

この研修は主に「学び方を学ぶ」ことを目的とし、そのために教師としてどのような関わりができるかをテーマに実施しております。

よくＰＤＣＡサイクルと呼ばれますが、葛原氏は「けテぶれ」というキーワードを用いております。計画してテストし、その振り返りを繰り返すサイクルを子どもたちに身に付けさせるにはどうすればよいか、ということを講義されています。

また、教員は日々の活動の中でどのようにそのサイクルを子どもたちに提示しているかという実践例を持ち寄り、中学校グループ、教科グループ、生活指導グループなど、自分たちの関心に応じたグループをつくって交流を行っています。

参加された教員の感想としては、現在学校現場が非常に多忙で、教材について語る時間が十分に取れないという課題が挙げられています。

そのため、このような場をセンターで設けることで、御自身の実践を存分に交流していただき、学校に持ち帰っていただくことを目的としています。

○西岡委員：ありがとうございます。私もＳＮＳで「けテぶれ」を見ており、教員の研修であると同時に家庭においても応用できるのではないかと感じておりましたので、内容が気になっていたところです。説明いただき感謝いたします。

○大北教育長：ほかにございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、次にまいります。小中一貫教育推進室の報告をお願いいたします。

○仲谷小中一貫教育推進室長：４０ページをお願いいたします。

実施した事業ですが、４月２２日に、３月に実施した教職員対象のワークショップに引き続き、地域保護者を対象として吉川地域の小中一貫校設置の基本計画策定に向けたワークショップを実施いたしました。

今後の予定は、１８日に幼保小架け橋期カリキュラム検討委員会、２５日に第２回吉川地域小中一貫校開校準備委員会を予定しております。

地域ワークショップの詳細は別紙にまとめており、４２ページを御覧いただきたいと思います。よろしいでしょうか。

４１ページには、３月の定例会で報告した教職員向けワークショップのまとめがございますので、後ほど御覧ください。

４２ページの参加者は１４人と少数ではありましたが、４つのグループに分かれて以下のテーマで議論を行いました。

- １． 人として
- ２． 人との関わり
- ３． 学びと力
- ４． 地域社会の関係

それぞれ、子どもたちに育ってほしい姿や、それに対して学校はどのようにあるべきかという意見を付箋に書いて模造紙に貼るなどのＫＪ法でまとめております。

結果は、１点目、豊かな人間性と関わりを育む交流環境として、友達と仲良くすること、世代間交流の促進、先輩後輩のつながりを大切にするといった意見がありました。交流スペースの設置も提案されております。

２点目、地域とつながり郷土愛を醸成する拠点については、応用力のある子ども、地域を愛し人とのつながりを大切にする子どもを育てること、農園の設置や地域交流スペース、地域参加型運動会の開催などの意見が出ています。

３点目、主体的な挑戦と安心感を支える居場所としては、好きなことを追求する力や諦めない心を養うこと、学校のイベントは子どもが考える、教室の入りやすいレイアウトなどが意見に挙がっています。

今後、第２回の実施を予定しております。６月１１日に吉川小学校のオープンスクールがありますので、終了後にお邪魔し、付箋を貼って意見を集める形で多くのかたから意見をいただきたいと考えております。

実施結果は次回報告いたします。小中一貫教育の報告は以上です。

○大北教育長：御意見はいかがでしょうか。

○西岡委員：付箋を貼って帰っていただく方法はとてもよいと思いました。

1点質問ですが、4月22日の参加者14人のうち、地域や保護者のかたはおそらく役職者やPTA役員のかたが中心だと思いますが、案内を見て自主的に来られた保護者のかたはいらっしゃいましたか。

○仲谷小中一貫教育推進室長：参加者14人中12人は開校準備委員会のメンバーです。残りの2人は地域の回覧等で初めて参加されたかたで、1人は保護者、もう1人は一般のかたです。

○大北教育長：その付箋を貼るタイミングはオープンスクールの時でしょうか。小学校のオープンスクールですか、中学校でしょうか。

○仲谷小中一貫教育推進室長：6月11日の小学校のオープンスクールです。ただ、低学年と高学年の保護者で終了時間が異なるため、45分ほど別途時間を設けて、2グループに分かれて意見聴取を行う予定です。

○大北教育長：ほかにございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、教育・保育課の報告をお願いいたします。

○荒田教育・保育課長：43ページを御覧ください。

教育・保育課の報告事項でございます。

実施した事業は、①三木市保育協会の就職フェアを4月25日に教育センターで開催し、参加者は15人でした。4月21日に保育協会と大学を訪問しPRを行った結果、訪問先の大学から7人の参加がありました。次回の就職フェアは6月28日にメゾン・ド・リヴァージュで開催予定です。

③アフタースクール学校連絡会は、開校から約1か月が経過し、子どもたちの様子について、学校、アフタースクール、教育委員会で意見交換を行いました。要支援児童の情報共有や学級閉鎖、警報発令時の取り決め事項も確認しております。

今後の予定として、①幼保小架け橋期のカリキュラム検討会議は18日に教育センターで開催予定で、第5回目となります。令和8年度では1回目の委員会です。今回は入学後2～3週間のカリキュラムについて検討し、安心なスタートや園での経験を大切にする視点から、関連事例や気づきをグルー

ブで協議いたします。幼保小架け橋期カリキュラムは令和８年度完成を目標に年明け完成予定です。

また、５月２１日にはアフタースクール支援員研修を実施し、多様な子どもたちへの理解と関わりについて、特別支援教育の知見を生かす内容で、合同会社笑育ＬＡＢＯの百瀬代表による研修・講演後、支援員同士の意見交換も行う予定です。

以上で教育・保育課の報告を終わります。よろしくお願いいたします。

○大北教育長：いかがでしょうか。御質問はございませんか。よろしいでしょうか。

学校教育課お願いいたします。

○武内学校教育課長：失礼いたします。さきほどの話の続きを御説明いたします。

ＳｃＴＮアンケートについては、なかなかきちんと御説明するのが難しいのですが、今回は具体的なアンケート項目の一例を御紹介できればと思い、お伝えいたします。

まず、ＳｃＴＮアンケートとは、単に「学校が楽しいか」「学校に満足しているか」という調査ではありません。例えば児童生徒が学校でどのような学びや学び方を経験しているか、また、学校生活の中でどのように自分が成長しているかを可視化することを目的としたアンケートです。

ですので、このアンケートはすぐに学力を上げるためのものではなく、まず自分の学びがどのようなものか、経験がどのように紐付いているかを可視化するツールと考えております。

具体的な質問項目としては、例えば「授業で学ぶことは自分の生活や将来につながっていると思いますか」というものがあります。これは、学習内容を自分ごととしてきちんと捉えられているかを把握するための質問です。単なる授業の満足度ではなく、自分自身が主体的に学ぶ姿勢や学びの意味理解を確認する内容になっております。

また、「みんなと協力して課題を解決している」という項目もございます。これは三木市の教育活動で重視している協働的な探究活動や課題解決型の学習が実践されているかを測る質問です。知識の習得だけでなく、探究的な学びの質を確認する設問と考えています。

更に、「学校で自分らしく過ごせている」という項目もあります。これは学校生活における安心感や自己肯定感を把握するための質問で、学力だけで

は見えにくい学校生活の質や心理的安全性を可視化することをねらいとしています。

すなわち、S c T Nアンケートは、従来の表面的な授業満足度調査とは異なり、主体的・対話的で深い学びが実際に行われているか、また、子どもが安心して学び、成長できる環境になっているかを多面的に把握できるものと考えています。

質問項目は多岐にわたりますが、一例として紹介させていただきました。以上です。

○稲見委員：たぶんアンケートというと、さまざまな御意見を集めて全体的な傾向や考え方をまとめるという意味合いが強いと思いますが、このS c T Nアンケートの場合は個別の成長記録に近いものでしょうか。もっと子どもに親しみやすい名前のほうがよいのではないかとも思いました。自分の成長記録が学校全体の活動につながっていくというイメージで合っていますか。

○武内学校教育課長：はい、学校全体の評価を目的としたアンケートではありません。御指摘のとおり、個々やクラス単位の動き、それから子どもたちの内面を捉えるものであり、全体のイメージを示すものではございません。

○山口教育振興部長：S c T Nアンケートの趣旨については、教育委員会や指導主事も理解を深める必要があると考えております。今後、指導主事向けの研修も計画しています。

めざすところは、現場の教員が日々感じている子どもの様子という主観と、データが示す傾向を突き合わせ、日々感じていることをデータで仮説・検証し、学校文化を熟成することにあります。

データ分析のスキルを生かし、授業改善や学校の改革に結び付けていくことをめざしています。以上です。

○大北教育長：なかなか理解が難しい部分もあると思いますので、次回も改めて取り上げたいと思います。先日、現場の教員を対象に研修会を行い、各校から7人ずつ参加いただきました。資料や目的等を文書化し、学校現場の教員に配布しているものも含めて、改めて6月の定例会で御説明いただければと思います。

また、最初に授業改善のためとありましたが、現時点の議論とのつながりが少し分かりにくいので、その点も整理していただき、学校文化全体を高め

ることで学力向上につながるという筋道を明確にさせていただきたいと思います。以上、6月の宿題とさせていただきます。

○梶委員：ありがとうございます。小学3年生から中学3年生までの流れでのお話ですが、最初はアンケートの意味がよく分からず答えているかもしれませんが、繰り返し受けることで自分を評価する力が付くのだらうと思います。それは主体的な学びにつながると思うので、とてもよい取組だと感じています。今後の御説明も楽しみにしています。以上です。

○大北教育長：ほかに御質問はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、所管事項はこれで終了といたします。

【日程第8 その他】

○大北教育長：次に日程第8、その他の事項について、この機会に委員の皆様から何か御意見がございましたらお願いいたします。

ございませんか。では、事務局から何かありましたらお願いいたします。

○河端図書館長：失礼いたします。さきほど人数報告ができなかった件について、再度30ページを御覧ください。

実施した事業の参加人数ですが、まず、①こどもの読書週間イベント「レッツチャレンジ！えほんクイズ」の参加者は、82人です。

②こどもの読書週間イベント「アニメ映画上映会」は、参加者33人、

③手話でみんなのおはなし会は、参加者4人でした。

以上、報告いたします。よろしくお願いいたします。

○大北教育長：ほかに事務局からはございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

【日程第9 次回定例会の開催日程について】

○大北教育長：では、日程第9、次回定例会の開催予定について事務局から説明をお願いします。

○田中教育総務課長：次回は6月19日（金）午後2時から、市役所5階大会議室で開催したく考えております。以上です。

○大北教育長：それでは、この日程で開催してよろしいでしょうか。ありがとうございます。

(非公開)

日程第 4 協議事項 2 豊地小学校の統合に係る教育委員会の方針について

協議事項 2 は、三木市教育委員会会議規則第 5 条第 1 項ただし書の規定により非公開で審議したため、同規則第 3 1 条の規定により内容については記載しない。

【閉会】

○大北教育長：これをもちまして、5 月の定例会を閉会いたします。ありがとうございます。

【令和 8 年 5 月三木市教育委員会定例会会議録】

教育長

署名委員

署名委員

記録者
